

CONTENTS 5・6月 ALL 40PAGES

PAGE 02
2023年度 新年度の挨拶



PAGE 03-06
新規開業の健康診断と人間ドックの専門施設
「新潟健診スクエア」と「県央健診スクエア」のゆったりとした内部フロアを紹介します

PAGE 07-12
2021年度最新データによる
医学協会の人間ドックとがん検診の結果

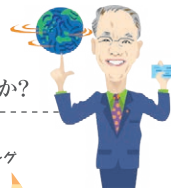


PAGE 13-16
医学協会の確かな安心〈シリーズVol.34〉
令和5年(2023年)4月から義務化された
「溶接作業に必要となるマスクのフィットテスト実施への準備」後編

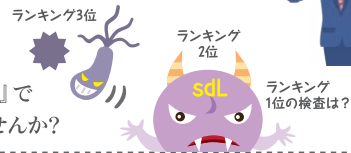


PAGE 17-20
2023年4/1リニューアル 新すこやか弁当登場!
新潟産の食材をふんだんに、バランスのとれた「フレイル」予防のお弁当

PAGE 21-24
Dr.YAMAMOTOの気ままな産業医日記
【第4回】どうなる日本の医学・医療 14年前の予言は当たっていたか?



PAGE 25-28
検査部通信SPECIAL
医学協会のオプション検査『健診ふらす』で
ご自身の“気になる”をチェックしてみませんか?



PAGE 29-32
Wellness 水田 裕史の趣味の時間
【第2回】二つの野外活動♥♥野外で得られる至極のウェルネス効果



PAGE 33-36
金さんの元気のでのるメンタルヘルス講座
〈シリーズVol.20〉心ワクワク、身体イキイキ!免疫力を高める生き方とは?

PAGE 37-38
表紙の写真「弥彦公園で麗しきツツジと朱塗りの観月橋を觀賞する」
編集者からのメッセージ

医学協会の新たなロゴ「新潟ウェルネス」。その名称にある「ウェルネス」は、英語の「Well (健康な)」を名詞化したもの。米国の医学者ハルバート・ダンが提唱した健康概念で、「単に病気ではないだけでなく、輝くように生き生きしている状態」を意味します。皆様の健康維持・管理のため、ベストな健診体制を整え、また、健診結果にもとづいた、ベスト・コンディションのキープ (あるいは、改善のために積極的に活用) に寄り添いたい、との思いからのネーミングです。



医学協会は、創立60周年(1962～2022年)の記念事業として、健康診断と人間ドックの専門施設である「新潟健診スクエア」と「県央健診スクエア」を新潟市と三条市の2ヵ所に新設します。健診スクエアと新名称で呼ばれる二つの施設は、2024年春の開業を目指し、建設がスタートしました。今号ではいち早く、新センターの内部フロア(男女別エリア)をご紹介します。また、当会が高いがん発見率を使命とし、実際に多くのがんを毎年発見しています。2021年度の人間ドックとがん検診の集計結果を公表しますのでお読みいただけたらと存じます。

「働くひとを^{いた}わり、
生命を^{まも}る」
健診機関として

(一社)新潟県労働衛生医学協会
会長 佐藤 幸示



弱毒化しつつも感染力を強め、3年間猛威を振るってきたコロナウィルスは今年5月8日より、感染法上、インフルエンザと同等の5類に移行となり、対策は個人に委ねられることになりました。国のコロナ対策は大きな節目を迎えたこととなります。

しかし、当会では大勢の高齢の患者様、入所者様がおられる病院部門、老健部門がありますので、引き続き、クラスター感染を起こさないよう、気を緩めず、しっかりとした対策を維持してまいります。

さて、今年度は、当会60周年記念事業として新たなコンセプトに基づいて計画された2ヵ所の総合健診センター「新潟健診スクエア」「県央健診スクエア」の工事が着工しております。

それぞれ新潟市西地区・新潟ウェルネス隣、三条市・ミズベリング三条隣に位置しておりまして、交通の利便性も良いので、ご利用しやすい施設となることと思います。新たな施設のコンセプトは、「第一に選んでいただける設備とサービス」「ゆったりとした環境の中に来ていただける」「気兼ねのない男女別エリア」「DX(デジタルトランスフォーメーション)による効率化、差別化」となります。

当会の名称には労働衛生という言葉が含まれています。この「労働」という言葉は働く人を労(いた)わること、「衛生」は生命(いのち)を衛(まも)ることを意味します。

この「働く人を労わり、生命を衛る」ことを当会の使命として捉え、皆様方から第一に選んでいただき、また、選ばれ続けられるよう、しっかりと力を注いでまいります。

今後ともご愛顧、ご指導の程よろしくお願い申し上げます。